

きんもくせい

平成30年 学校教育だより

March **3** 第336号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711 (内線623)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



「みんなで協力！ たてわり清掃！」

写真提供／水谷東小学校

うめのみ

みずほ台小学校 二年

松石 夢花

うめのみさん

すっぱいのを

がまんして

いっしょうけんめい

木につかまっているの

まるい まるい

赤ちゃんつれて

どこ見ているの

数学科担当として

私は現在、二学年の担任を受けています。この学年では数学の授業も三年目となり、受験の時期が迫ってくるのと比例して、生徒たちから数学の問題の質問を受ける日々が続いています。希望する進路を実現させるためには、避けて通ることが難しい数学。生徒たちは頭を悩ませながら、同時に私も頭を悩ませながら、共にひるむことなく向き合っています。

私が普段の授業で主に心がけていることは、『気づいた・わかった・できた瞬間の楽しそうな表情』が生徒たちから多く生まれるようにすること、『一人で無理ならチームで解決』という授業スタイルです。

この二点を核として、五十分の授業計画と実践を行い、内容を振り返り、新たな課題を設定しています。

知る時間と考える時間

指導者 東中学校 教諭 天谷 雄大

埼玉県教育委員会が示す本年度の『指導の重点・努力点』で、中学校数学では二つの努力点が挙げられています。特に二つ目では、『数学的活動の充実を図り、その楽しさや数学のよさを実感し、活用して考えたり判断したり表現したりしようとする態度を育てる』と、指導におけるねらいを位置づけています。この視点を踏まえた上で、私は五分の授業を、新たな知識や性質・定理を『知る』時間と、これらを用いて課題を解決する『考える』時間とに明確に

分けることを特に強く意識しています。

知る時間の生徒たち

『気づく・わかる・できる』ためには、相応の知識と技術が不可欠です。とりわけ各単元の系統性、関連性の高い数学においては、新たな知識として身につけるべき内容と、既習事項を活用して新たな性質を見い出すことができ、内容を区別することで、生徒たちは『今は何をすべき場面なのか』という目的意識を明確にもつことができます。

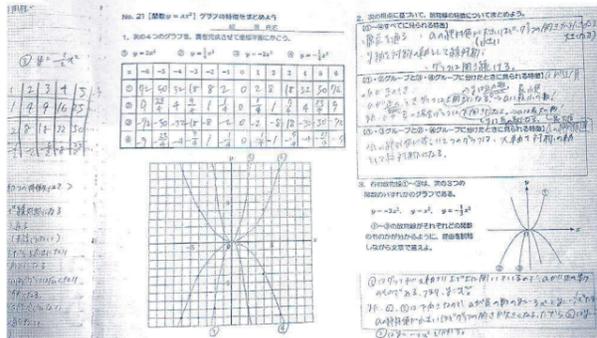


つるせ台小学校 6年 原田 怜佳

私はつるせ台小学校の合唱部に入っています。地域の行事や音楽会で発表したり、コンクールに出場したりしています。普段は休み時間を使って練習していますが、コンクール前は夏休みにロング練習をして、いい歌声を響かせられるように頑張っています。努力の成果が出て予選を突破し、優秀賞をいただいた時はとても嬉しかったです。

チームワーク!つるせ台小学校合唱部

4年前に創られた合唱部は、現在52名で活動しています。チームワークや努力することの大切さを学びました。4月からの中学校生活でも合唱部で培ったことを忘れずに何事にも真剣に取り組みたいと思っています。



『天谷数学はノートが命』
彼らが一年生の頃から常に伝えている言葉であり、それぞれの学習が蓄積された宝物にしてほしいと思っています。

『考える時間の生徒たち』
授業の後半部分であり、この時間がメインです。生徒たちは前半部分で学習した内容を

＝ 中学校数学 ＝

わかる授業

数学が『わかる』瞬間・『楽しい』瞬間
～自力解決とグループ学習を通じて～

を早速用いて、課題や問題演習に挑みます。基本的には各時間用のプリントを作成し、生徒たちに配付して行います。その準備に時間はかかりますが、『〇〇ができるようになった』、『〇〇が』という生徒の変容をイメージしながら、これを段階的に達成するためのプリントを作成するため、自分自身の授業のねらいそのものが整理でき、このプリント作成は授業準備の核となっています。

さて、授業中の生徒たちの

様子ですが、まずは個人で自力解決を図る時間を設けます。できた生徒からプリントを持って教卓に並び、私が直接チェックを行います。できていれば次へ進むよう伝え、間違っていたら間違えた箇所を指摘し、わからなかった問題がある場合には、最小限のヒントを提示します。生徒たちは自分のノートを見ながら、一生懸命問題に取り組みます。それでも自力解決が難しい問題があることも事実です。

ある程度時間が経過したと

特別支援教育

特別支援教育を学ぶ

水谷中学校 教諭 都崎 滋子

「その下に半円を弧が下側になるように書いて下さい。」
「これで良いのかなあ?」
「うーん、自信ないなあ。」
「はい。正解はこれ。耳からより目から。ぱっと見せれば一瞬で伝わるでしょう。」一同納得。笑顔が広がります。

これは本校の職員研修の一場面です。説明役は校長、生徒は先生たちです。講師は、市教育相談室、専任教育相談員の浅見由利子先生です。本

校では、今年度の学校研究テーマを「特別支援教育の手法を生かした教育活動」とし、浅見先生に三回シリーズの講義をお願いしました。

本校は全校生徒二百五十名という市内で最も小規模な中学校です。全職員で一人一人の生徒を見られるという小規模校ならではのよさが、日々の活動に生きています。

しかし、一人一人と向き合う中で、「学習や集団生活に困

難を感じている生徒をどう支援したらよいか」ということが、ここ数年の課題となってきました。

講義はどの回も明快でわかりやすく、冒頭のように、教師自ら困難さを実感する場面もあり、その都度、気づかされるのがたくさんあります。

何より、この研修自体がテーマを体現した授業でした。この出会いに感謝し、今後一層、生徒一人一人の支援に努めていきたいと思えます。



「答えを教えてください」というやりとりではなく、生徒たちの意識の高さを感じられます。

生徒の意欲と頑張りが支え

このような授業が実践できるのは、生徒たちの授業への意欲と頑張りが一番の理由であると考えています。

ある日、授業後に生徒から、「先生ってよく、プリントを解いている僕たちを見て嬉しそうな顔していますよね。」

ところで、『話す』ことを認めています。生徒たちは「この先どう解く?」「ここどうやって求めた?」と、近くの席やグループ内で協力して解決を図ります。

と言われました。生徒たちがよく考え、解決に向かって取り組んでいるということを確認している言葉だなと感じました。できた問題に丸がついて嬉しそうな生徒や、授業終了後もプリントに取り組み続ける生徒、問題の考え方について話している生徒たちの姿は、教科担当として当然嬉しいものです。

『数学は楽しい』と一人でも多くの生徒が感じられるよう、教材研究に励む日々です。

指導・講評

東中学校校長 千代田 栄

天谷先生の授業は、次期学習指導要領が求めている『主体的・対話的で深い学び』を目指した授業となっている。既習事項を活用して得られた推論等から、新しい内容を発見し、自力解決を試みる。その背景に目指すべきものがあり、それに向けたアドバイスや生徒同士が話し合ったりして、学びが深まる。その一連の流れの中で、『気づく・わかる・できた』を味わい、考えることの『楽しさ』を実感できる授業となっている。

富士見市立西中学校では、富士見市立関沢小学校と連携し、平成二十八・二十九・三十年度埼玉県教育委員会「考え、話し合い、学び合う学習」普及のための実践協力指定校及び富士見市教育委員会の研究委嘱を受け、全教職員で研究に取り組んでいます。研究主題を「思考の可視化と学び合いを通して、ひと輝く生徒



「確かな学力」の育成を目指して

西中学校

を育むための研究」とし、ひと輝く生徒を育む学習場面と基本的な学習の流れの設定に取り組んできました。学習場面においては「学習しぐさ」に注目して教科の枠を超えて授業観察、研究協議を行い、成果をあげることができました。また、各教科の思考力・表現力・判断力とのつながりの明確化等、課題もありますが、今後も全教職員で研究に取り組んで参ります。地域の皆様



方には一度生まれ変わった西中の授業を学校公開日等に見に来ていただけたらと思います。

夏休み期間には「彩の国ボランティア体験プログラム」が全国的な取り組みとして、中学生を中心に、多くの子どもたちに参加をいただいています。ボランティア活動への参加の思いはさまざまですが、興味あることへの挑戦や自身の発見、あるいは将来に結びつく第一歩となることも少なくありません。学校の



の成長も後押ししてくれているような気がします。娘の成長を通して新しい気持ちがあったり、新しい人との出会いがあったりします。娘という存在が私にくれる刺激を大切にしながら、親として人としての成長をしていきたいものです。ありがとうございます、わが娘。



教育課題特集

はぐくむ 生きる力を

心身の成長を

水谷小学校 保護者 葉原 彬

我が家には小学校二年生の長男と年長の次男がいます。二人ともサッカーを習っており、毎週楽しそうに通っているようです。私にはサッカーを習った経験がないので、インターネットで練習方法を調べて、休みの日には三人で一緒に体を動かしています。平日の練習の様子を見ることができないので、年二回ある大会をとっても楽しみにしています。

試合で二人の様子を見ると少しづつではありますが大会ごとに成長を感じ、たくましい様子にいつも驚かされるばかりです。私も小学生の頃からスポーツをしていました。子どもの頃は、とにかく友達と同じスポーツをすることが楽しかったという記憶しかありません。楽しかったから、続けることができました。学生時代には、スポーツを通じて心身共に成長することができました。仲間とともに同じ目標に向かい、切磋琢磨して学生生活を送っていた記憶がよみがえってきます。



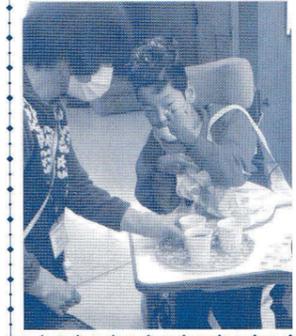
そして、たまにはスポーツに向ける情熱と集中力を、少し学習にも注いでくれたら、なお嬉しいものです。



キャリア教育「きつきさ学校」

富士見特別支援学校

高等部卒業後の自分の将来に見通しを持つことをねらいとして、中学部三年生は就労に向けたキャリア教育に力を入れ、取り組みました。喫茶店を開く学習では、福祉喫茶などに伺って、実際に働いている方を見学させていただき、作業の厳しさや技能を学びました。高等部では作業所での実習があり、中学部段階で実際の現場を見ることで、社会的自立に向けた夢や希望をもつ一助になりました。また、保護者の方も一緒に見学ができたことで、今後の生き方を親子で考えるよききっかけになりました。「きつきさ学校」では、三年生の生徒全員がスタッフとして



て模擬労働をすることで、働くことの大変さややりがいを実際に体験をすることができました。これは、将来労働を通して社会と繋がりをもち、貢献をしていく喜びを知るよききっかけになりました。

子どもに育てられ

東中学校 田中 美佳

私の娘は吹奏楽部に所属しています。私自身、小学校の頃から運動に携わってきたこともあり、我が子が文化部に入ることに対し抵抗や戸惑いがありました。しかし、何事も頑張つて取り組むことが大切だと思ひ、見守ることにしました。そう決めてからもうすぐ二年がたとうとしています。部活動や学校生活を通して日々刺激を受けている娘。取り組んでいるクラリネットの上達とともに、人としても成長する娘。そんな娘の姿に「ああ、学校という場所で、たくさんのお話を学ばせてもらっているのだな」と感じるとともに、学校の有り難さを感じます。娘の成長。それは私自身

「福祉教育とボランティア」

富士見市社会福祉協議会

富士見市社会福祉協議会では、市内の小中学校全十七校を「社会福祉推進校」に指定させていただいています。小学校では主に小学四年生の「総合的な学習の時間」や、中学校では学年ごとのテーマに基づいて、学習が進められています。小学校で主に行われる手話体験・点字体験・盲導犬の学習、中学校で実施している「あいさつボランティア研修」では、障がいのある方や地域のボランティアの方との関わりをとおして、普段の授業とは違うことで得られる理解と共感、そして優しい心が育まれていると感じています。

学校で行う福祉学習やボランティア活動から芽生えた思いを地域や社会に繋いでくれることを期待しつつ、これからも福祉学習のサポートと子どもたちの「やりたい気持ち」を実現するお手伝いに取り組んでいきたいと思ひます。



高等部作業学習製品
高等部では、木工・陶工・手工芸・農園芸・紙工芸の5つの作業班が、週3回、匠の技で心のこもった作品を製作しています。

特別支援学校



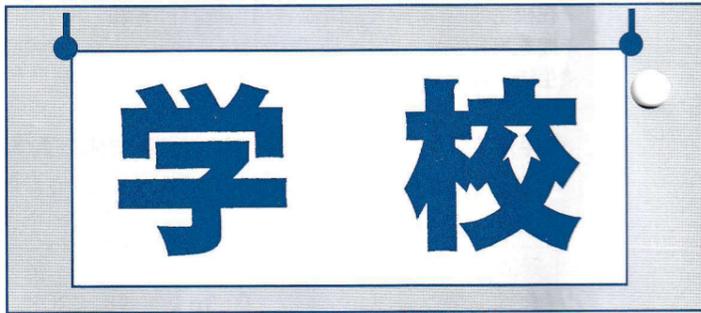
南畑小

みんなで心をつなぐ！「赤とんぼ発表会」
この日のために練習を重ねてきた子どもたち。歌や合奏など、自分たちの発表に自信をもってステージに上がりました。キラリ☆びじみのホールいっぱいに素敵な演奏が広がりました。



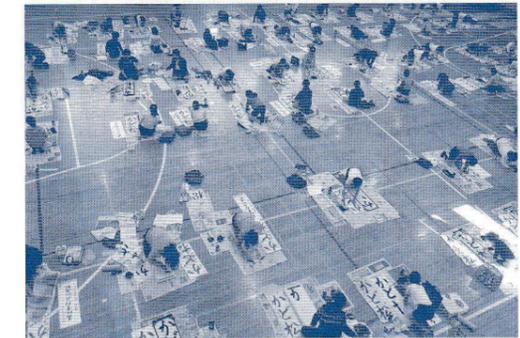
校庭で交通安全教室を実施
スクエアード・ストレート交通安全教室で、スタントマンによる人が車に接触する事故実演を目の当たりにし、改めて交通安全の大切さを学びました。

水谷中



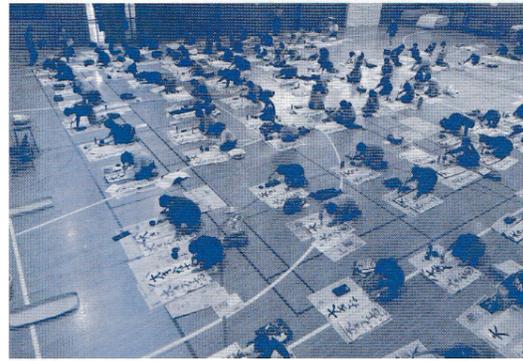
つるせ台小

投力のばそう！ハッスルタイム
毎週水曜日は投力向上を目指して、思いっきり体を動かします。終わった後の子どもたちはさわやかな汗と笑顔で輝いています。



真剣に文字と向き合う「競書会」
1月に競書会が行われました。静かな体育館で一人一人が集中して取り組む姿は真剣そのもの。11月頃から練習を始め、冬休み中にも取り組んだ成果を発揮しました。

水谷小



鶴瀬小

集中して・・・
広い体育館で、全員が集中して書きぞめに取り組んでいます。もうすぐ最高学年。大きな志をもって、次の鶴瀬小学校をひっぱっていきます。

一年が経つのは早いもので、今、学校は一年間のまとめの時期に入っています。子どもたちは、この一年で多くのことを経験し、一人ひとりが大きく成長することができました。子どもたちがいきいきと学ぶことができるのは、学校の先生方だけでなく、保護者や地域の方々などの支援があるおかげです。心より感謝申し上げます。
また四月より、子どもたちは進級し、新たな成長をしていくこととなります。今後とも温かなご支援をよろしくお願い致します。



本郷中

伝統芸能に挑戦！
狂言『附子』観劇後、セリフなどの指導をいただきました。みなさん一緒に！「このあたりのものでござる〜」



富士見台中

Heartful Tree
全校生徒の目に入りやすいように作成した「いじめなしの木Heartful Tree」。それを見ながら語る生徒たちもいます。



ふじみ野小

図書委員会による読み聞かせ
みんなが本に親しむきっかけとなるように読み聞かせをしています。1月はおみくじ、福袋と図書室に行く楽しみがいっぱいです。

本年度は「敏捷性」を課題として取り組んできました。敏捷性は素早く正確に動くことが大事です。「おにっこ」などが敏捷性の向上には有効です。各学校におきまして、体育授業や体育的活動の充実を図り、体力の向上に努めておりますが、ご家庭でも是非、富士見市児童生徒体力向上推進委員会から発行されております『いきいき体力』の運動(遊び)や健康な体をつくるための食事等を参考にしたいいただき、子どもたちの体力向上、健康な体づくりについて意識していただけたいと思っております。ご協力をお願いします。

男子ボール投げ (m)

学校種別 学年	小学校						中学校		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
29年度	8.33	10.84	15.31	18.78	22.80	25.54	19.02	22.22	25.89
28年度	7.83	11.58	14.98	19.06	21.84	25.36	18.29	22.11	24.63
比較	-	×	○	-	○	○	○	○	○

女子ボール投げ (m)

学校種別 学年	小学校						中学校		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
29年度	5.95	7.38	9.51	11.69	14.08	16.25	12.71	15.35	15.94
28年度	5.68	7.45	9.21	11.60	13.86	15.84	13.12	14.14	15.15
比較	○	-	○	-	-	-	×	○	○

「富士見市児童生徒体力向上推進委員会の主な事業」
(1) 授業研究会の実施(小・中) 授業研究部
(2) 新体力テスト結果の分析 調査統計部
(3) 「いきいき体力」の発行 広報部
(4) 教員を対象とした実技研修の実施
昨年度、埼玉県の課題は「ボール投げ」でした。一年間取り組んだ成果が本年度の新体力テストで見られました。

教育委員会だより

卒業おめでとございます

春の暖かな日差しの中、市内小・中・特別支援学校の卒業生のみなさんが新たな門出を迎えます。保護者のみなさまには、お子様の成長を振り返り、感慨もひとしおのことでしょう。

卒業生のみなさんは、通い慣れた学校や一緒に過ごした仲間たちとの別れに寂しさを感じながらも、これからの生活に期待をふくらませているのではないのでしょうか。新しい場所で、たくさんの人との出会いを通して、広い視野をもった心豊かな人に成長することを願っています。

在校生のみなさん、4月から1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新しい目標に向かって、たくましく元気に学校生活を送りましょう。

◇平成30年度富士見市立小・中・特別支援学校入学式

期日：4月9日(月) 入学見込み人数は1月20日現在

学校名	開式時間	入学見込人数
鶴瀬小学校	11:00	105名
水谷小学校	10:50	123名
南畑小学校	10:45	39名
関沢小学校	11:00	74名
勝瀬小学校	10:50	97名
水谷東小学校	11:00	40名
諏訪小学校	10:50	122名
みずほ台小学校	11:00	77名
針ヶ谷小学校	10:45	65名
ふじみ野小学校	10:50	115名
つるせ台小学校	10:45	88名
富士見台中学校	9:30	183名
本郷中学校	9:45	140名
東中学校	9:50	101名
西中学校	9:20	116名
勝瀬中学校	10:05	284名
水谷中学校	9:15	96名
富士見特別支援学校	10:20	15名



桜の咲いた入学式、私は新たなスタートを切りました。初めての小学校、初めての一年生担任。新しい環境に胸躍らせる子どもたちの顔を見たとき、改めてこのクラスの担任として一

毎日がとても新鮮で、新たな発見が多く、日々驚かされることばかりでした。子どもたちが、毎日新しいことを覚え、できることが増える様子を一番近くで見届けることができるという

十月には音楽会、持久走大会などの行事を通して、子どもたちの一層の成長を感じることができました。

もうすぐ二年生になるクラスの子どもたちは、いつも笑顔に溢れ、活気ある日々を過ごしています。

共に暮らす日々の中で

ふじみ野小学校教諭

岩瀬 実夏



年間共に成長していきたいと強く思いました。一年生は、学校で経験する全てのことが初めてで、興味や疑問をもったり、全身で喜怒哀楽を表現したりと、私にとっても

六月に迎えた運動会、私が考えたダンスを一生懸命練習し、本番はキラキラの笑顔で踊り、きる子どもたちを見て、胸が熱

行事だけではなく、授業で学ぶ言葉や計算、掃除や給食などもたちは、自分にできる新しいことを知っていきます。私は、大好きな子どもたちとこれからも全力で向き合い、どんなときにも寄り添うことのできる教師でありたいと思います。子どもたちには、時に困難にぶつかっても、多くの経験を

編集日記

「凡事徹底」という言葉を存じでしょうか。辞書で調べてみると、何でもない当たり前のことを徹底的に行うこととあります。私はこの言葉が好きでいろいろな場所で使っているのですが、大リーグで活躍するイチロー選手にこの「凡事徹底」に関するエピソードを見つけました。

「今までに、これだけはやったなという練習がありますか。」と記者に質問されたイチロー選手は、「高校三年間一日十分ですが寝る前に素振りを行いました。その素振りを一年三百六十五日、三年間続けました。」と答えたそうです。少し頑張れば達成できるような目標を設定し、やるべきことを、継続を条件に凡事徹底する。まさに、小さなことの積み重ねが大成功の道に続くというお話でした。

この話を聞いて、私も新たに自分の健康のために目標を決めました。徹底してやり続けるとなると、かなりハードルが高かったかもしれせん。

(庄司)